

経営比較分析表（令和5年度決算）

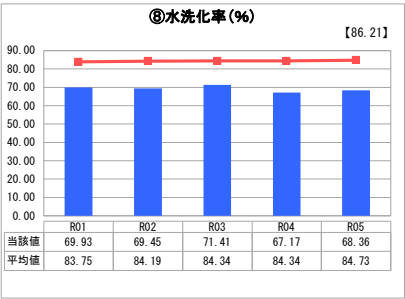
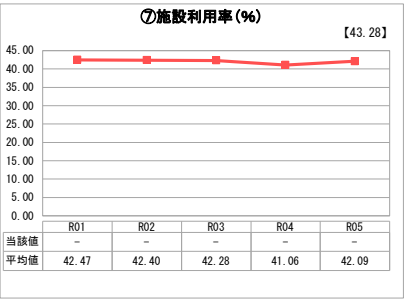
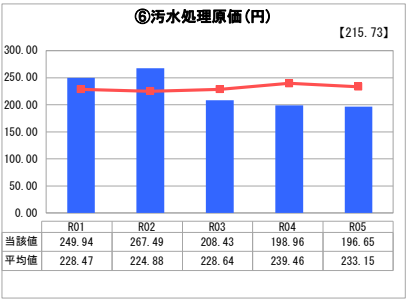
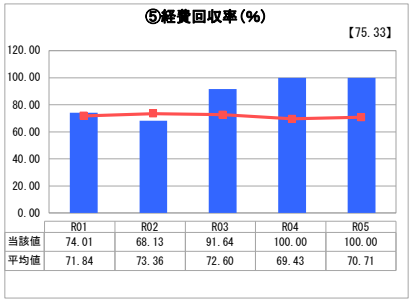
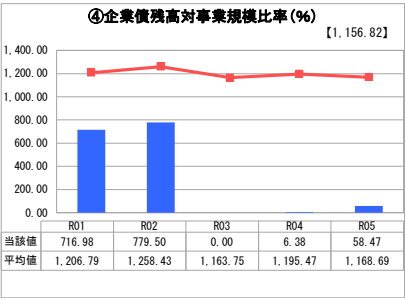
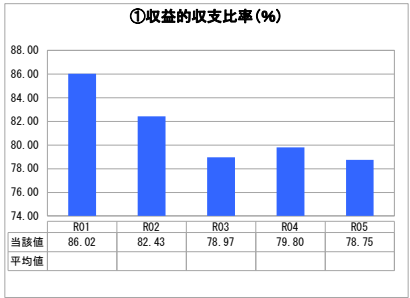
熊本県 錦町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	46.48	100.00	4,290

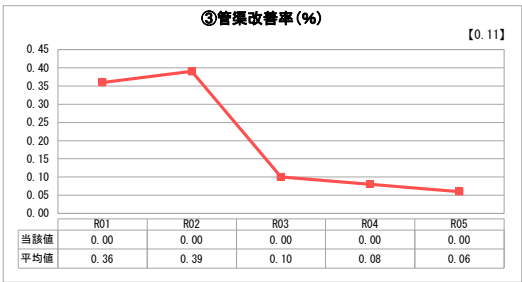
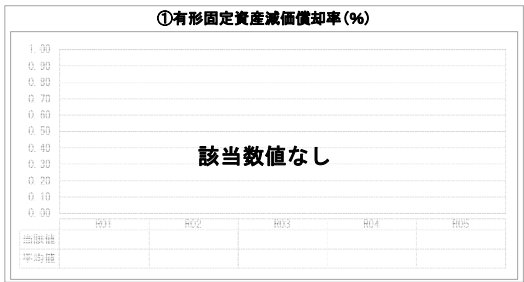
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,223	85.04	120.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,700	2.20	2,136.36

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率（経常収益に対する経常費用の割合）については、水洗化率の向上に伴う料金収入の増加等により総収益が向上しているものの、地方債償還金や工事費がそれ以上に掛かってしまった為、赤字になっています。今後も下水道接続率の向上による料金収入の確保と共に、費用の削減を行い改善していきます。

④企業債残高対事業規模比率（営業収益に対する企業債現在高の割合）については、類似団体より低い状況です。要因として、地方債の償還については大部分を一般会計からの繰入金により負担しているためです。

⑤経費回収率（使用料収入で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているか）については、類似団体より高く当値も100%となっています。令和2年度までは減少傾向でしたが、令和3年度の料金改定により上昇傾向にあり、今後も改善していく見込みです。

⑥汚水処理原価（有収水量1㎡あたりの汚水処理費）については、類似団体より低い状況です。今後も下水道の接続率向上による有収水量を増加させ、経営の改善を図っていきます。

⑧水洗化率（汚水処理区域内人口のうち実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合）については類似団体より低い状況ですが、町単独の補助制度等を推進し改善していきます。

2. 老朽化の状況について

平成5年度から下水道事業に着手しており、管路等の施設は比較的新しいのですが、平成30年度に実施したストックマネジメント計画策定の結果、毎年1,000万円以上の更新工事を実施することが、管路・施設の健全性及び財政面を総合考慮して最適であると示されました。令和3年度に実施した料金改定の増収見込みの財源を活用し、今後の改築更新工事を計画していきます。

全体総括

下水道事業（特環）については一般会計からの繰入に依存している状況です（令和5年度は約44.1%）。水洗化率は微増傾向にあるため、接続促進をどのような方法で上昇させるかが課題となっています。人口減少社会の中、今後の有収水量は減少に転じていく見込みですので、計画的な料金改定により収入を確保します。

また、施設の適正な維持管理のため更新事業も計画的に実施します。

令和6年度から公営企業会計に移行し、事業の『見える化』をはかり、安定した事業経営を目指します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。